



新 能

TAKIGI-NOH

葛尾大尽屋敷跡

夕闇に甦る葛尾の歴史
篝火に照らしだされる幽玄の世界

令和元年 **9月28日(土)**
15:00より開場/17:00開演
会場：葛尾大尽屋敷跡公園
(雨天時は葛尾中学校体育館)

※当日の急激な天候の変化によっては中止となる場合もございます。
※公演当日が晴天予報であっても事前の準備期間が雨天の場合、
会場が体育館に変更となる場合もございます。

同日開催 村内史跡バスツアー、お茶会、物産販売 など

参加無料[定員300名]

※会場規模および送迎バス対応の都合により、300名を定員とさせていただきます。
観覧を希望される方は、事前にお申込みください。定員になり次第、受付を終了とさせていただきます。
※席数の都合上、立ち見になる場合があります。ご容赦願います。

ご案内 公演会場となる葛尾大尽屋敷跡公園には駐車場がございません。
お車でのお越しのお客様は、所定の駐車場にお車を駐車していただき、会場への移動は「館あぜりあ」より運行する送迎バスをご利用ください。詳しくはチラシ裏面をご覧ください。

主催：葛尾大尽屋敷・能狂言公演実行委員会 / 一般社団法人葛尾むらづくり公社
共催：葛尾村 / 日本大学工学部 / NPO法人福島住まい・まちづくりネットワーク
協力：白河文化交流館コミネス

お問合せ先 葛尾村復興交流館あぜりあ
福島県双葉郡葛尾村大字落合字落合20番地1
TEL0240-23-7765 [電話受付時間9:00~17:00 ※火曜定休日]

●このイベントは、独立行政法人中小企業基盤整備機構の「むけのこ」回復支援事業により実施します。
●このイベントで活用する能舞台は、白河文化交流館コミネスの御厚意に御お借りして実施します。

- ◆ 仕舞 「子ども仕舞」
- ◆ 火入れ式「開会式」
- ◆ 仕舞 「高砂」
シテ 武田孝史
- ◆ 狂言 「柿山伏」
山伏 破石晋照
畑主 内藤 連
後見 破石澄元
- ◆ 能 「羽衣」
シテ (天女) 久貫弘能
ワキ (漁夫) 御厨誠吾
笛 相原 彦
小鼓 岡本はる奈
大鼓 白坂保行
太鼓 小寺真佐人
後見 東川光夫、内田朝陽
地謡 武田孝史、水上 優、東川尚史

大場眞一、菅野唯、星 本文、広川康明

参加申込方法

郵便はがき、メール、または葛尾村復興交流館あぜりあ内窓口でお申し込みください。
●お申し込みは、お一組様につき**最大4名**までとさせていただきます。
※先着順で受け付けます。定員に達した時点で申込受付を終了します。

郵便はがき・メールの場合
はがき・メール本文に以下の必要事項を記入のうえお送りください。
必要事項 氏名・郵便番号・住所・電話番号・性別・年齢・同伴者がいる場合は氏名(3名まで)
村内史跡バスツアー参加申込(希望者のみ)・臨時送迎バス利用の有無
はがき宛先 〒979-1602 福島県双葉郡葛尾村大字落合字落合20-1
葛尾大尽屋敷・能狂言公演実行委員会 宛て
メール宛先 k.muradukuri@katsurao-kosya.or.jp
窓口で申込の場合 あぜりあ窓口にある申込用紙を提出してください。



葛尾大尽の歴史に触れ160年前の栄華を偲ぶ一夜

葛尾大尽屋敷跡公園／江戸時代から明治にかけて栄華を誇った松本三九郎一族の邸宅跡が残り、葛尾の歴史を今に伝える貴重な史跡です。

〔葛尾大尽の起こり〕

およそ450年前、藤原氏の流れを汲み、信州葛尾城主と関係があったとされる松本勘ヶ由介の孫、好倉が一族の祖である初代の松本三九郎と目されており、好倉が後年の一族繁栄の基礎を造りました。

二代目、重供の代からは、延鉄・生糸・木炭など、近隣はもとより京や大阪との商取引で莫大な富を築き、いつしか「葛尾大尽」と呼ばれるようになりました。最盛期だった江戸時代中頃には、近隣の三春藩をはじめ、相馬藩や棚倉藩に大金を献上し、一族はおよそ200年の永きに亘り栄華を極めます。

しかし、商売の中心だった製鉄業の不振に伴い、一族は衰退の一途をたどり明治時代に没落。豪壮を極めた建物は、明治4年と昭和8年の二度にわたる火災でその大半を焼失しました。

平成18年には発掘調査が行われ、48棟あったと伝えられる蔵の基礎石や、近江八景庭園跡の全体が発見され、現在の屋敷跡は葛尾大尽屋敷跡公園として整備・公開されています。2ヘクタールに及ぶ邸宅跡には、蔵の基礎石や築城用石を用いた石垣をはじめ、近江八景を模した池、磨崖仏などが今も残り、往時を偲ばせています。



松本家本宅略図（出展：松本家画像家譜伝）

〔能狂言で歴史再現〕



当時、葛尾大尽の屋敷内には能舞台があり、三春藩など近隣の藩主を招待して能狂言を鑑賞した歴史が残っています。

このたびの「能狂言公演(新能)」は、葛尾大尽にまつわる歴史や伝統文化に再び光を当て、先人達の暮らしに思いを馳せることで復興に取り組む村民自身の誇りやアイデンティティーを呼び起こし、また、葛尾村の歴史文化を村外に発信することで、新たな交流を生み出し地域創生と活性化を図るために開催します。

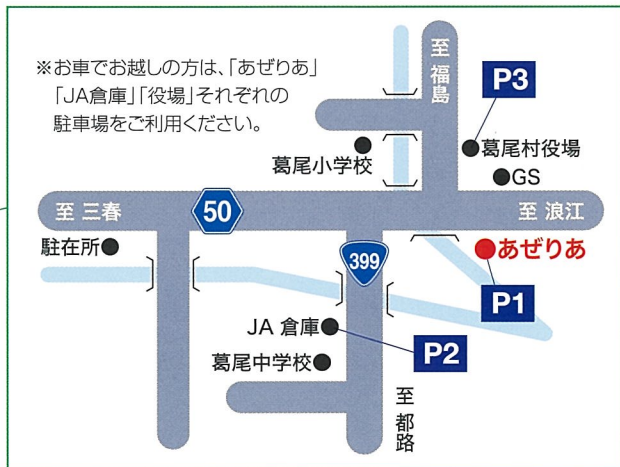
この葛尾大尽屋敷跡に本格的な能舞台を設け、夕闇に包まれるなか篝火に照らされる幽玄の世界を鑑賞しながら、160年前の歴史を再現したいと思います。



現在の本宅跡

会場のご案内

葛尾大尽屋敷跡公園には駐車場がありません。移動には「あぜりあ」から運行する無料シャトルバスをご利用ください。



※お車でお越しの方は、「あぜりあ」「JA倉庫」「役場」それぞれの駐車場をご利用ください。

駐車場について

お車でお越しの方は、左記の駐車場(P1～P3)をご利用ください。P2/P3ご利用の方は、「あぜりあ」まで徒歩で移動願います。

公演会場までの移動手段

会場への移動は、「あぜりあ」から出る無料シャトルバスをご利用ください。下記の時間帯で運行します。

公演前 15:00～16:30
公演後 19:00～20:30

当日のスケジュール・催し

- 歓迎イベント**
- 13:00 村内史跡バスツアー1巡目
 - 15:00 村内史跡バスツアー2巡目
 - 14:00～16:00 お茶会・物産販売など
 - 19:00～20:30 物産販売など

※バスツアー、物産販売は「あぜりあ」、お茶会は葛尾大尽屋敷跡公園を拠点に開催します。

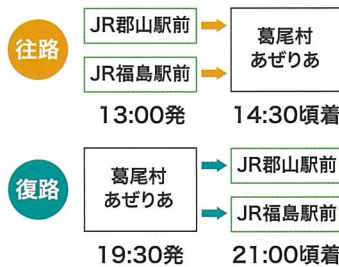
新能スケジュール

- 15:00 開場 公園内自由見学・お茶会
- 16:30 開演 オープニングアクト「地元伝統芸能 三匹獅子舞」〈休憩〉
- 17:00 解説
- 17:15 子ども仕舞
- 17:25 火入れ式(開会式)
- 17:40 仕舞「高砂」
- 17:45 狂言「柿山伏」
- 18:00 能「羽衣」
- 19:00 終演

※諸事情により、公演会場をはじめ、構成内容や時間が変更となる場合もございます。予めご了承ください。

葛尾村までの臨時送迎バス運行について

葛尾村まで、お車でのご来場が難しい方のために、郡山駅・福島駅～葛尾村間の無料送迎バスを運行します。ご利用を希望される方は、観覧申し込み時にご予約をお願いします。



※記載の到着時刻は目安です。

集場所・乗降場所

- JR郡山駅前 郡山駅西口観光バス乗降所
- JR福島駅前 福島駅西口バスのりば内

ご利用の申込先

復興交流館あぜりあ ☎0240-23-7765
[電話受付時間9:00～17:00 ※火曜定休日]

※各便とも定員は45人までで定員になり次第受付を終了します。

※ご利用には事前のお申し込みが必要です。当日、飛び入りでの乗車はできません。

お申し込みは、お一組様4名までとさせていただきます。

※出発予定時刻を10分超過しても集合場所へお越しいただけない場合は、バスを出発させます。事前お申し込みがある場合、当日連絡が取れる状態であっても、予定時刻を大幅に超過する場合は、お待ちできません。

※お申込者の都合によりバスに乗車することができず、会場までの移動に別途交通費が生じた場合は自己負担となります。